

通信制教育目標	重点目標(中長期的目標)	総合評価						
「生きる力」の育成 ～自学自習を通して～ ○社会に対応できる学力 ・コミュニケーション 能力 ○自己の可能性の再発見	①単位取得に向けた履修継続への支援 ②自己実現を図るための進路指導の充実	ひとりひとりの学力に応じた学習指導(個人指導・特別指導・補充スクーリング)により、最後まで諦めずに活動を続ける生徒が増えてきている。確実な学力を付けて進学を志し合格した生徒や、就職内定する生徒が多くなっている。			A	B	C	改善策・向上策
	今年度の重点目標	成果と課題						
	①職員研修会の実施 ・多部制・単位制に向けて ・学習指導の工夫と評価 ・全通研・中通研などの全国的動向	多部制・単位制委員会の検討事項を職員会ごとに報告、情報交換や検討を加え、併設の通信制としてのあり方を探り、2期制対応の教育課程を作ることができた。 全通研・中通研に3名ずつ参加。中通研教科研究会には、全教科が参加。報告研修会を実施した。			○			中通研教科研究会により各教科の学習指導上の工夫等研修は、深まった。更に教科を越えて学び合う事や長野西高との連携協力の体制づくりを進めていく。 併設の3部定時制の行方を確認しながら、併修制度の見直しや単位修得率の向上のための指導を検討していく。
②個人懇談の積極的な実施 ・学習指導のための個人面接・特別指導 ・保護者懇談会	個人面接・特別指導の希望者は多くなっているが、活動が停滞している生徒の活性化という観点では、今一步。保護者懇談会には92名参加。保護者との連携により個別指導の効果も上がっている。			○			日・月曜日以外の個別指導希望者も多くなっている。時間・内容等生徒の希望に対応できるようにしていく。	

領域	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教 育 課 程 ・ 学 習	・教育課程の改善	・新たな多部制・単位制高校としての教育課程をつくれたか。	2期制導入による教育課程(前期科目・後期科目・通年科目設定)、単位認定等の諸規定も策定。学習の手引き、職員便覧改定。	○			教育課程や諸規定を改定したが、来年度以降問題点が生ずることも予想される。実施と並行して更なる改善に努める。
	・学習指導の充実	・生徒によるレポート、添削、面接等の評価を実施したか。	各教科で授業アンケートを行い、改善に努めた。特別活動・総合学習の時間について全校アンケートを実施。		○		レポート内容や添削指導のあり方について評価する方法を工夫していく。
	・シラバスの活用	・指導に生きるとともに生徒に役だったか。	シラバスにより学習の進め方を示すことができ、レポート提出状況に改善が見られた。		○		通信制の生徒は学習の進め方についてシラバスに頼る場合が多いので、より詳しいシラバス作りに努める。
生 徒 指 導	・禁煙の徹底	・集会やHRでアピールし、喫煙マナーを向上できたか。	集会やHR指導の他、朝夕の見回り・声がけにより 校内の喫煙が少なくなった。校舎周辺の吸い殻も減っている。		○		禁煙指導は、継続して取り組まなければならない。
	・保護者との連携の強化	・半数以上の保護者と懇談できたか。	保護者懇談会中の懇談者92名。熱心な保護者もあり、日常的に連絡を取っている例もある。	○			引き続き、学級担任と保護者がこまめに連絡を取り合いながら心的ケアに心がける。
	・交通安全の徹底	・会誌や集会等を利用して注意を喚起できたか。	5月に大きな事故があり、集会を通じて注意を喚起した。以降、大きな事故はない。	○			集会やHRにおいて折に触れて注意を促す。
活 動	・進学指導体制の確立	・個人面接、特別指導等を生かし、学力の向上が図られたか。 ・進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。	個人面接(スクーリング)や、テスト後の特別指導を実施することにより個々の生徒の単位修得率を上げることができた。 放課後の進路説明会や個人懇談を通して個々の進路実現に向け指導することができた。	○			進学・就職を希望する生徒も多くなっている。1年次より進路ガイダンス等への参加を促し、キャリアカウンセリングに力を入れる。 担任と進路係の連携により個人懇談を充実し、単位修得にとどまらず進学対応の学力を付ける。
	・就職指導の充実	・事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。	係、担任による積極的な働きかけにより、企業側の理解を求め、出願し内定を得ることができた。	○			ハローワーク等との連携を深め、生徒への情報提供の充実を図る。
生 徒 活 動	・地区活動の充実	・魅力ある活動ができ、参加者が増加したか。	各地区とも地区担当の積極的働きかけにより活発な活動ができたが、一部生徒に偏り、全体の活動となりにくかった。			○	地区活動の内容を精選し、多くの生徒が積極的に活動に参加し、各地区の活性化に努める。
	・生徒会行事への積極的な参加	・運動会、文化祭、交流会での参加者が増加したか。	運動会、文化祭の参加者は、昨年並み。昨年実施できなかった長野西高との交流会が実施でき、参加者には好評であった。	○			諸行事の内容充実と情報伝達方法の工夫により参加者拡大を図る。
学 校 運 営	・新たな多部制・単位制に向けた研究	・午前部・午後部・夜間部との連携について課題が明確になったか。	通信制と三部定時制の教育課程が完成した。課程間の相互乗り入れを充実させるには、定時制の授業が軌道に乗るのを待たなければならない。		○		定時制の教育課程や授業展開と並行しながら、定通併修が円滑に実践できるよう検討していく。
	・教務会の充実	・全体を見通した検討や提案ができたか。	定期的に教務会を持ち、充分検討後職員会に提案する事ができた。学習の手引きや職員便覧も使いやすく改定できた。	○			新しい在籍管理システムやe-ラーニングの整備も含め、定期的に教務会を持ちながら課題への取り組みについて職員会に提案していく。
	・係活動の活性化	・課題に対する提案や周知徹底ができたか。	スクーリング当日の清掃活動等、係の提案が支持され活動が充実してきている。		○		各係ごとに早期に計画・提案・実践に努める。
地 域 連 携	・新高校通信制の理解を促す広報活動	・全中学校・高校へ適切な資料を配付できたか。 ・地区説明会で明快な説明ができたか。	8月26日学校説明会、10月26日11区入試説明会、10月31日10区入試説明会において中南信全域に学校案内・募集要項等配布した。 2月本校においての説明会、伊那、飯田地区の説明会は参加者も多く志願者も順調に集まっている。	○			HPによる情報発信の充実を図る。体験入学・学校説明会を前期・後期2回開催する。中南信の中高連絡会等において広く資料を配付する。地区説明会の充実を図る。